

だまされ美剣士コロナ⑥



だまされ美剣士コロナ6



泣き言
ぬかすな!

うおお!
この数は
ヤバいだろ!



なんとしてもここで
駆除するんだ!

殺戮蜂の巣は
放つとけば際限なく
増え続ける



魔法隊
周囲の蜂を
焼き払え...



うお
やった!

やったじゃない
馬鹿!

まわりを
片づけてからじゃないと
一気にたかられるぞ!





おっ!!
おっ!!

いや
お見事…

なに
皆の援護
あつてのことだ

あんたのおかげで
被害も出さずに
済んだよ



ほぼ
あんたひとり
終わらせたん
じゃねーか

てかなんで
無傷なんだよ

ほんとにケガは
してないのか？
殺戮蜂は
微量だが毒持ちだ
念のため治療を…



気づかい感謝する

ああ
一部魔導士が
やってる
「不可視の鎧」か
どうりで平気な
はずだ

ははは
さうでもなければ
さすがの私でも
魔物の群れに
身をさらしたり
せんぞ



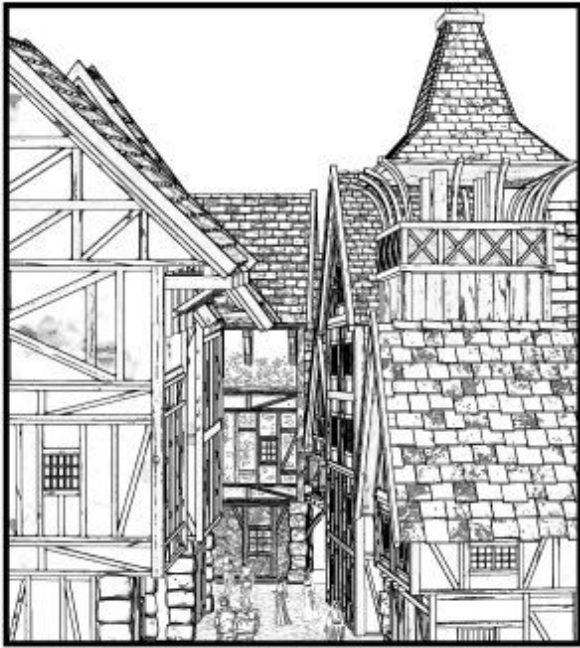
それでも
剣一本で全部
け散らすのは
別の話だろ…

あれが辺境
最強の剣士…



だが私は
魔力甲冑処理を定期的
に行っているのでは
あの程度なら問題ない





紅のコロナカ…

邪魔するぞ

ガキヤ

やあ
いらっしやい



魔導鍛冶師 ドワオ

いつもより
早めだけど
なにか
あった？

蜂退治で
あちこち
かじられたんでな



念のため
かけ直してくれ

どれどれ…
ああ確かに
破損寸前だねえ



この
美しい肌に
傷がつかなくて
よかったよ

関係ない
ところで
気安く
触るなど
言ってるだろうが



まったく…

シッポ…



腕はいいのだから
もう少し真っ当に
生きてたらどうなんだ

あいにく
あの父親の息子
なもんで

いいかげん
受け入れてくれてると
思ってたんですけどねえ

いつものように
言っても無駄か……

この男ドワオは
私の愛剣の手入れをしてる
鍛冶師ドワゾーの息子である

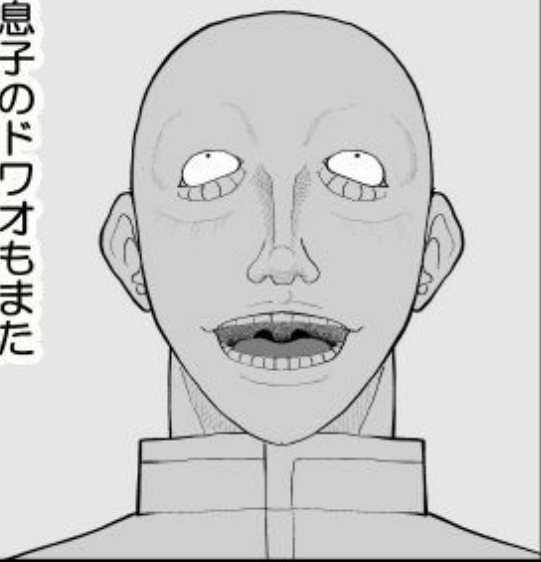
そう

……

ドワゾーは
剣の手入れと引き換えに
私の身体を要求する
スケベシジイだが



息子のドワオもまた
魔力甲冑の
コーティングと
引き換えに似たような
要求を毎度してくる



本来なら
ふざけるなど
叩きのめして
くれるところ
だが

キッパ...

断れば
親子そろって
手を引くと
言われては
首を縦に振る
しかない

じゃ
始めます♪

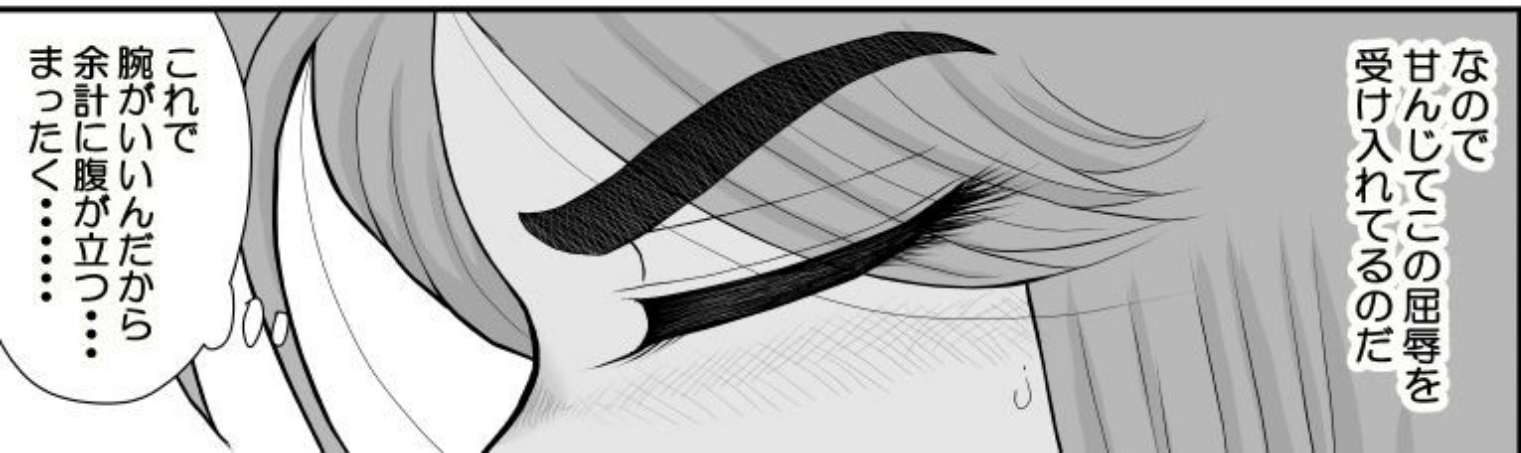
冒険者稼業において
いい武器
防具の確保は必須

4キヤ...

ああ...

なので
甘んじてこの屈辱を
受け入れてるのだ

これで
腕がいいんだから
余計に腹が立つ...
まったく.....



あいかわらず
よく鍛えられてるねえ

…職業上
当然だ……

ヌッキ
ヌッキン…



それでいて
柔らかくもある
理想的な身体、と



無駄口たたかず
黙ってや…

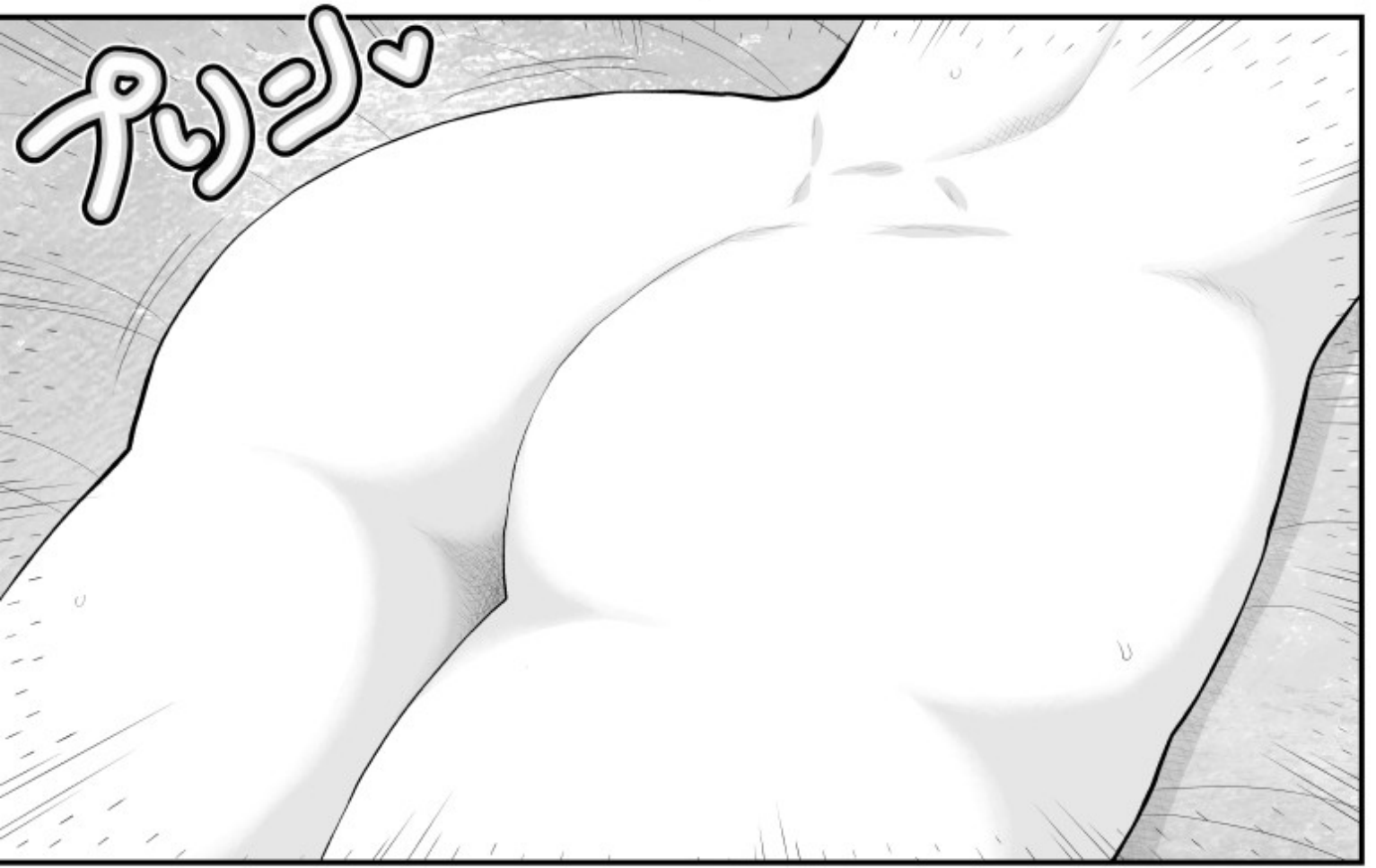
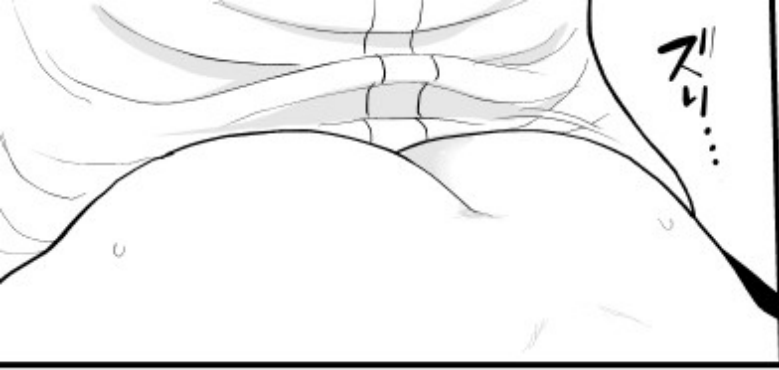
ひゃんっ



施術中は静かに
してくれないかね
フフフ……

フフフ……





そいつらは
きみの強さに
おののきながらも
きつと
こう考えてるよ

あのいいケツ
揉みしだいて
みたいってね

ズレッ
ズレッ

知らんはずが
ないだろう

いつも男どもの
視線感じてるだろ？

やっぱり
いい尻だ

…知らん



もっとも
その後の結果を
恐れて指一本
触れられない
だろうけど

んんん...

...で
そうじゃないお前は
このうえない
優越感にひたってる
わけだ.....



ギシ...

当然だろう

最強とうたわれる
女剣士が貧弱な
僕の手の中で
身もだえてるんだから

では
遠慮なく

むいん

無理せず
声出してくれて
いいですよ……
フフ……

ムムム

ムムム

静か……にしてろと
言っ……たのは……
お前だろ……う……

ムムム

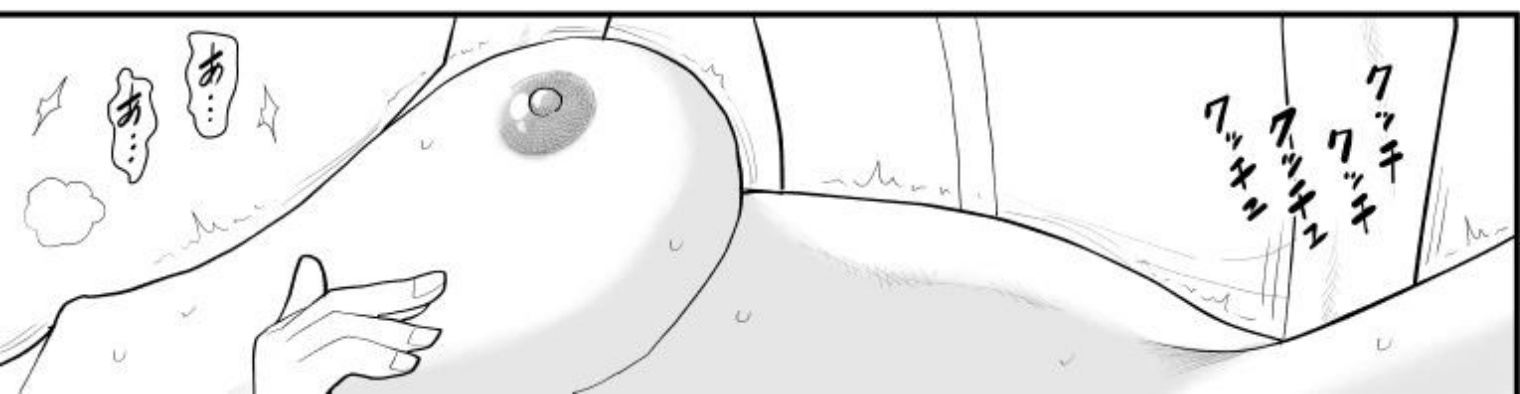
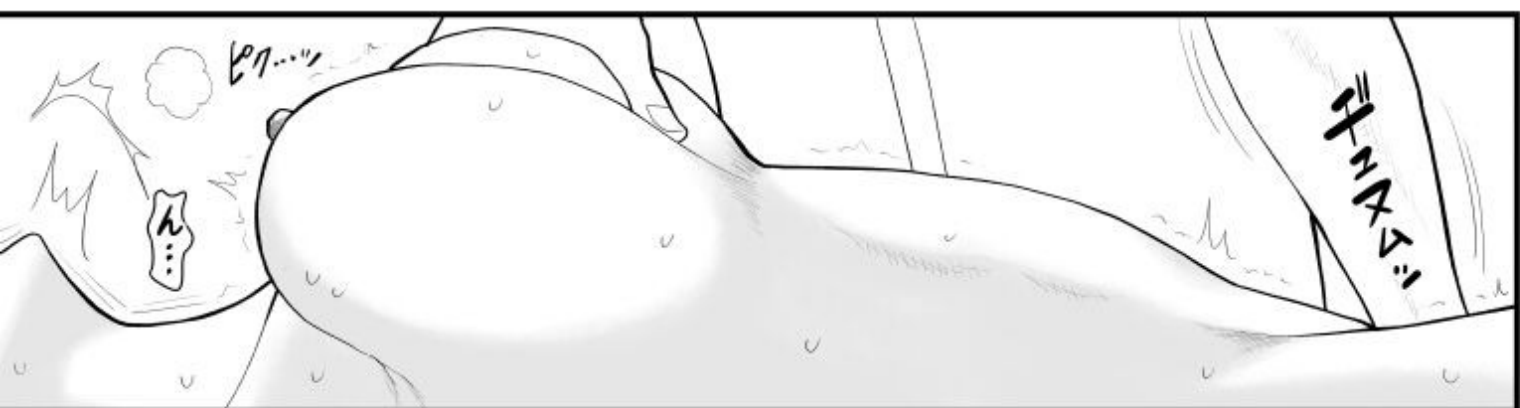
あれは冗談ですよ
強い女性の喘ぎ声は
聞いてて
楽しいですし

ウキウキ

ムムム

ムムム

……悪趣味な
やつめ……
……





結局
この段階になったら
アンアン言うんだから♪

う……る……い
……あ……
……ああ……んっ

あ

あっ

ああ……

あっ！



毛穴を開いて
全身に塗った魔液を
体内に吸収させる

グ……



さあ本番だ

そのためには
たっぷり汗を
かかないと

そういういで
私を犯したいの
だらう……

ごたくはいから
やりたければ
やれ……

んほっ！

ズン

ズン
ズン
ズン……

？！

？！

？！



あ
やっぱいいね
きみの膣内

ハア...

ハア...

ハア...

何度抱いても
飽きないね...っつと

んん

んん

うん

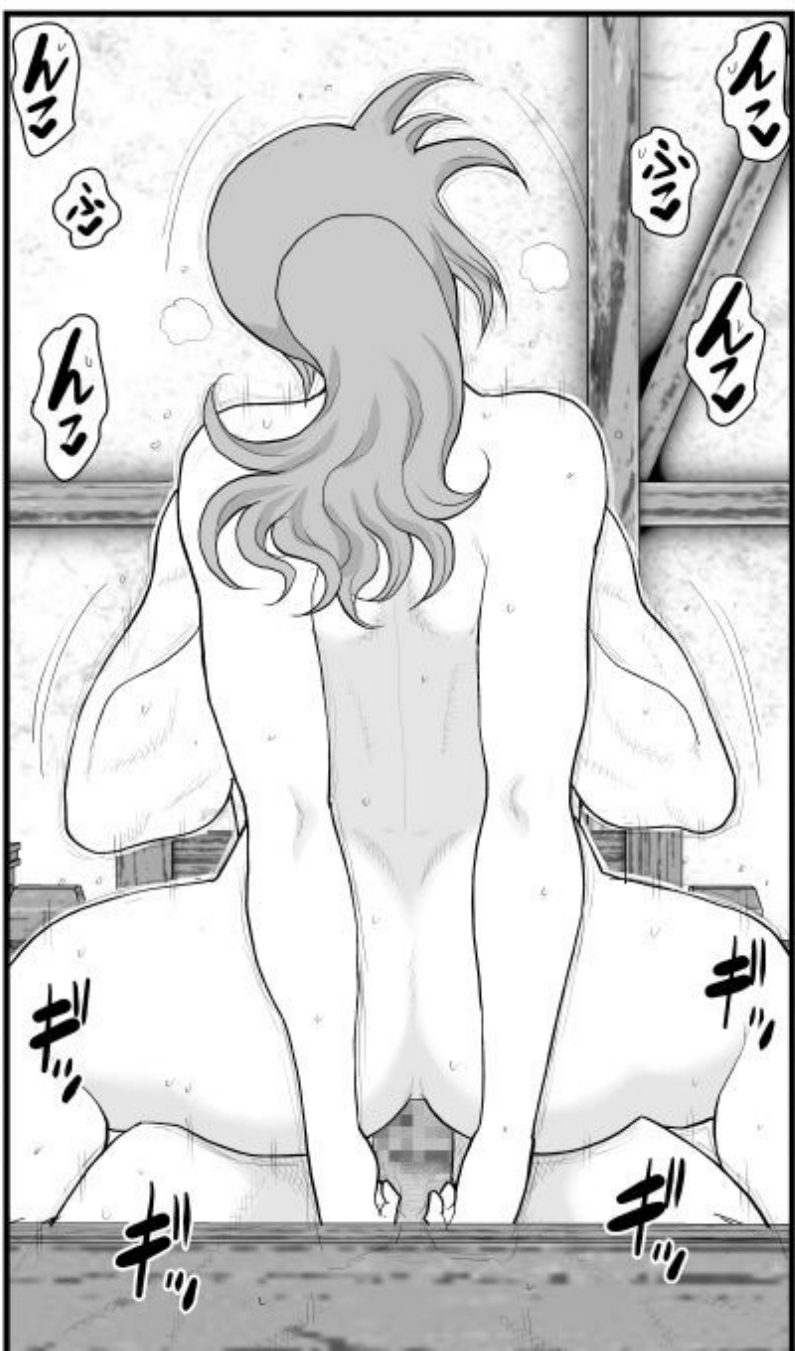
うん

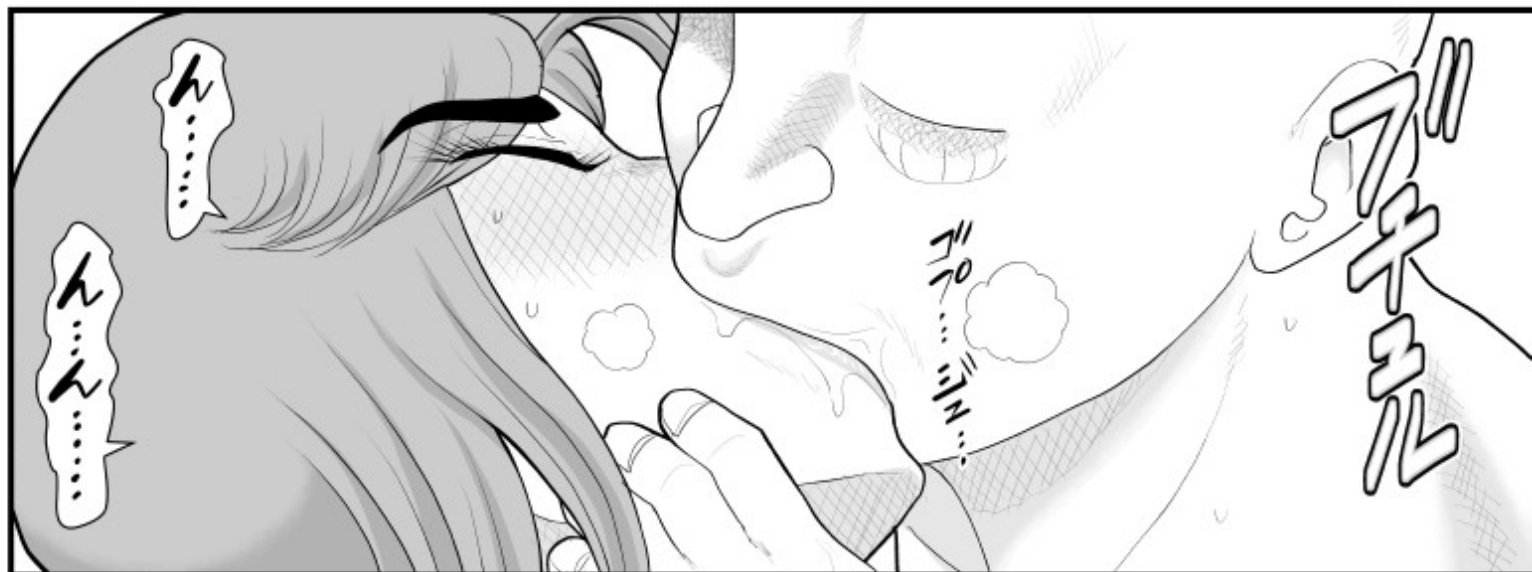
んん

んん

んん











ハッ
ハッ

あーダメだ
今日も先に
イッてしまう

んんん

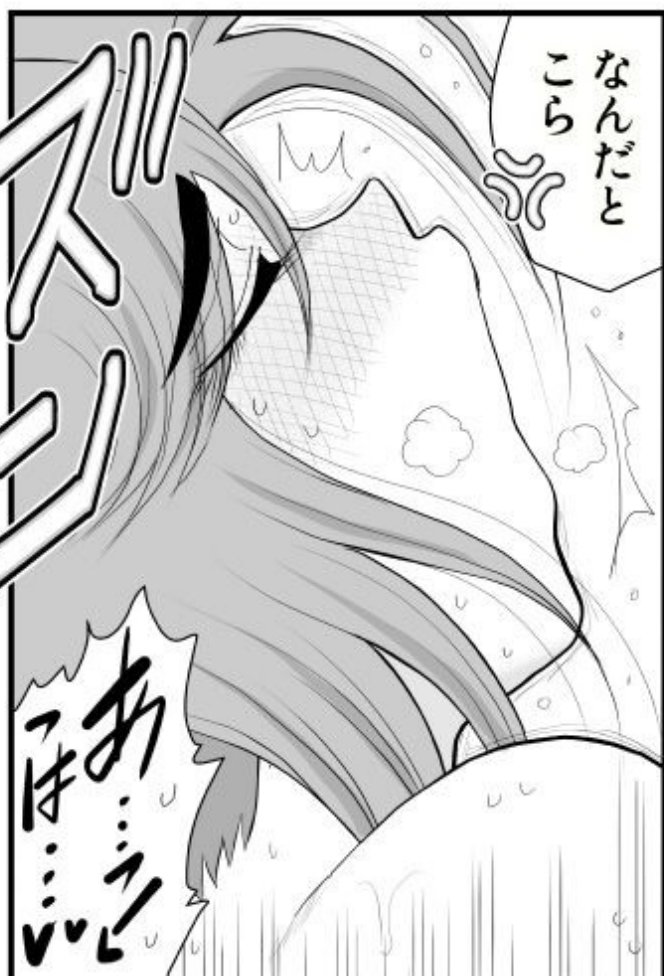
あーあー



ふ……ふふ……
あいかわらず
親父と違っ……て
早漏……だな……

フッ……

フッ……



なんだと
こら

あ……
は……



あー

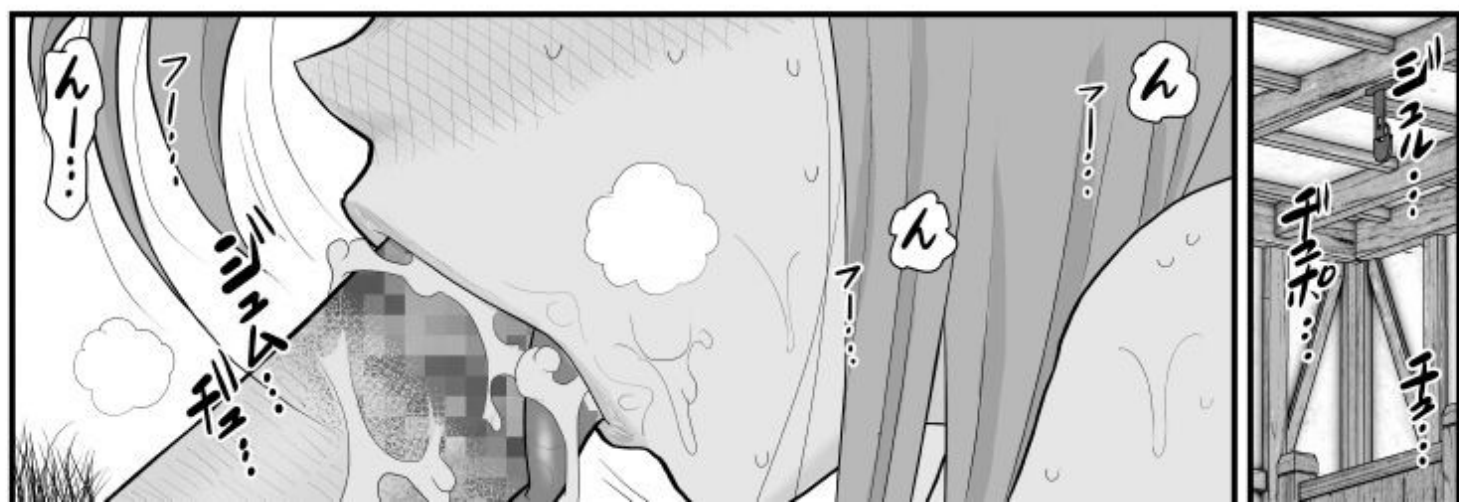
あー

あーあーあーあー

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ





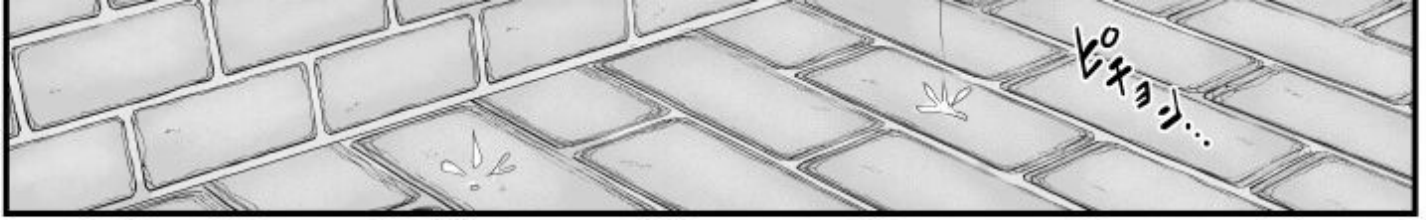
ほらほら
ちやんと飲み込まないと
効果が出ないよ



ようく
かき混ぜて・・・と



んんんんん!
んんんんん!
んんんんん!



ア...ア...ア...

♡

毎回思うが
立場が逆だろ
これ.....

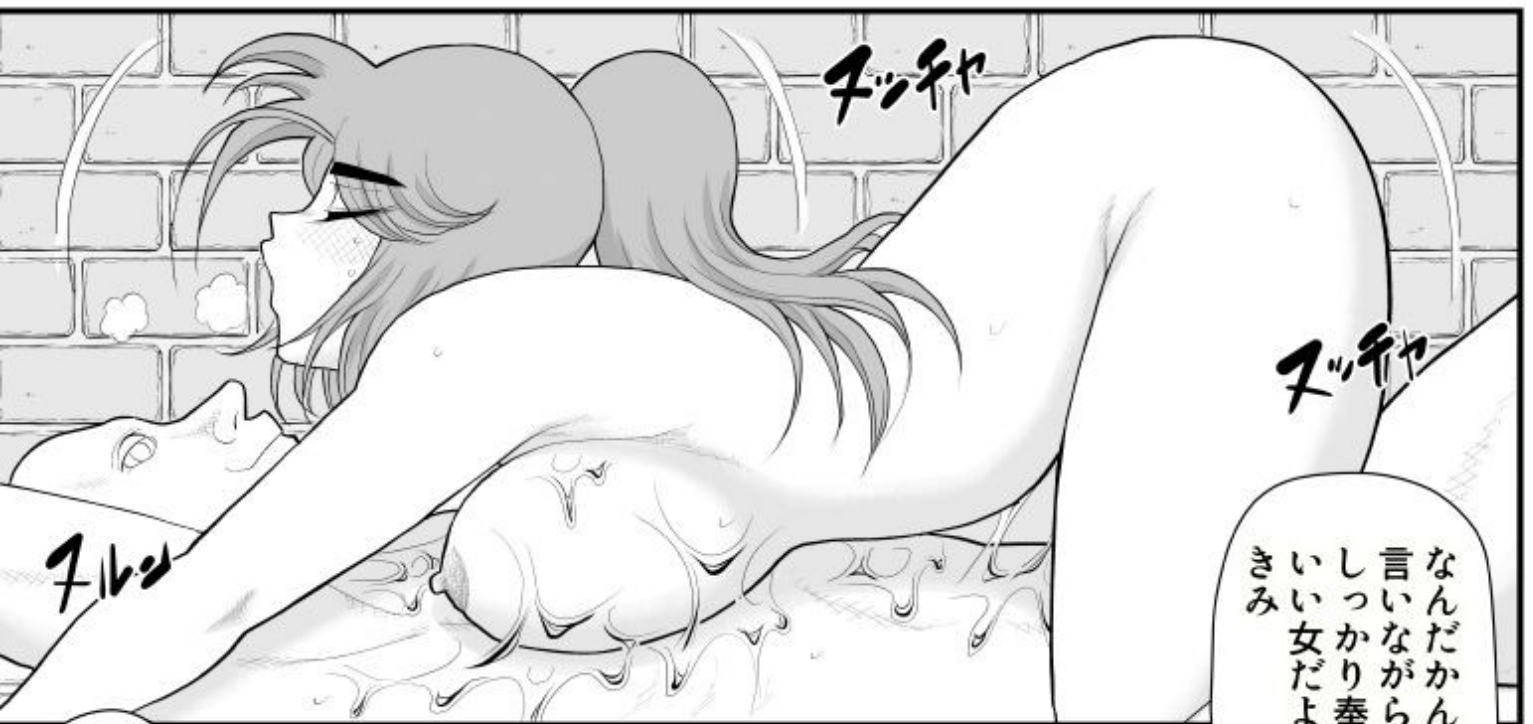
結果は一緒だから
問題ないだろ...
さあ集中して

ア...ア...

はいはい...







なんだかんだ
言いながら
しっかり奉仕するあたり
いい女だよなあ
きみ



そんな評価は
いらんぞ……

そういえば
今さらだけど
父は元気に
してるかね？

本当に今さらだな...
そういうことは
最初に聞け

シツキ
シツキ



あいもかわらず
元気すぎるほど
元気だから安心しろ



いい年なんだから
息子の女に
手を出すなって話だよ

なあ？

あ
あ
あ

あくまで……
取引条件として
相手してやってる
だけなのを
忘れる……な……

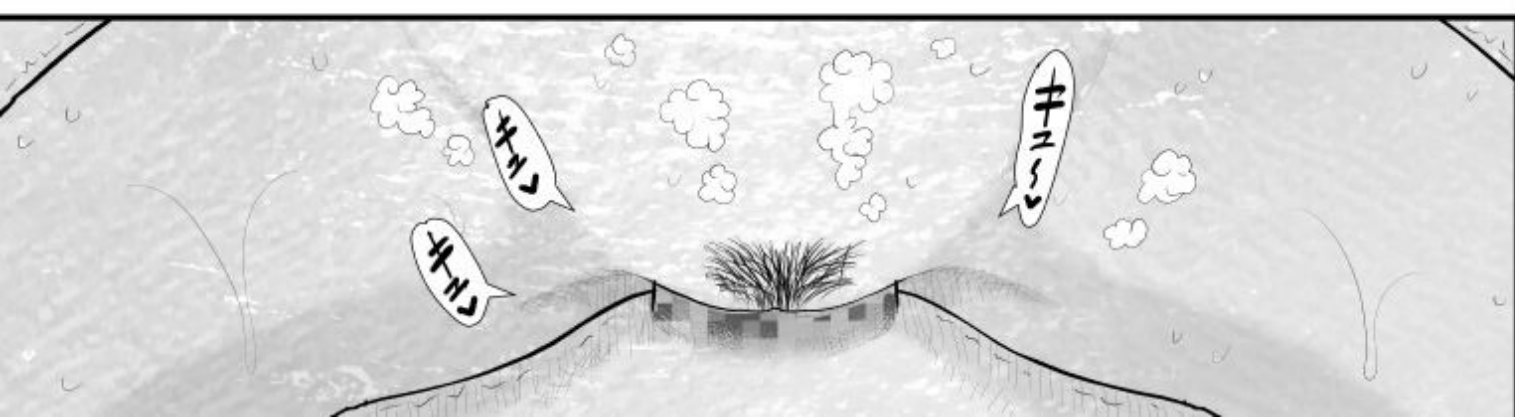


……そもそも……
どっちの女でも
ないから……な……

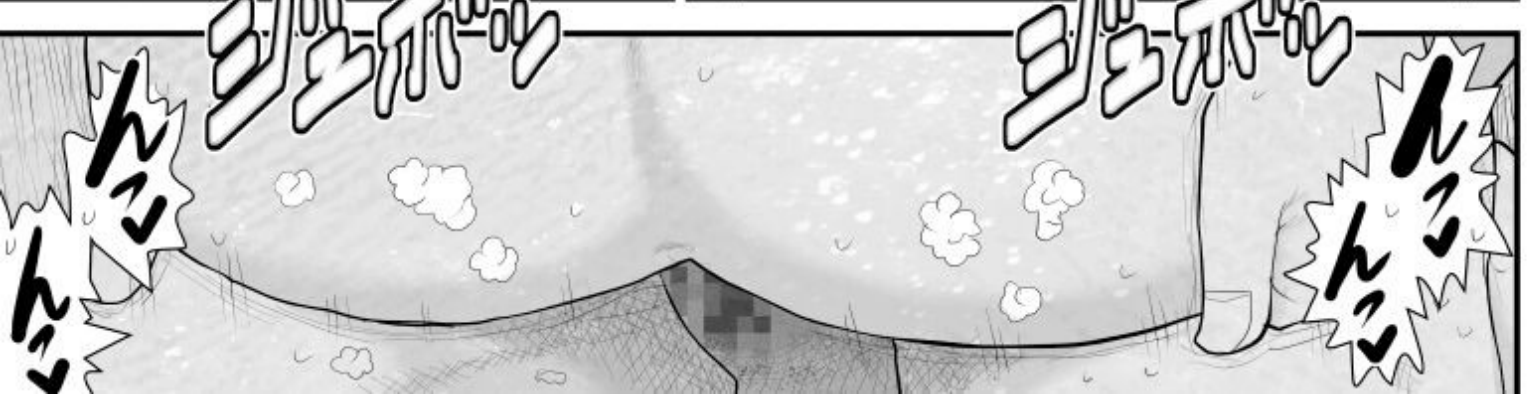
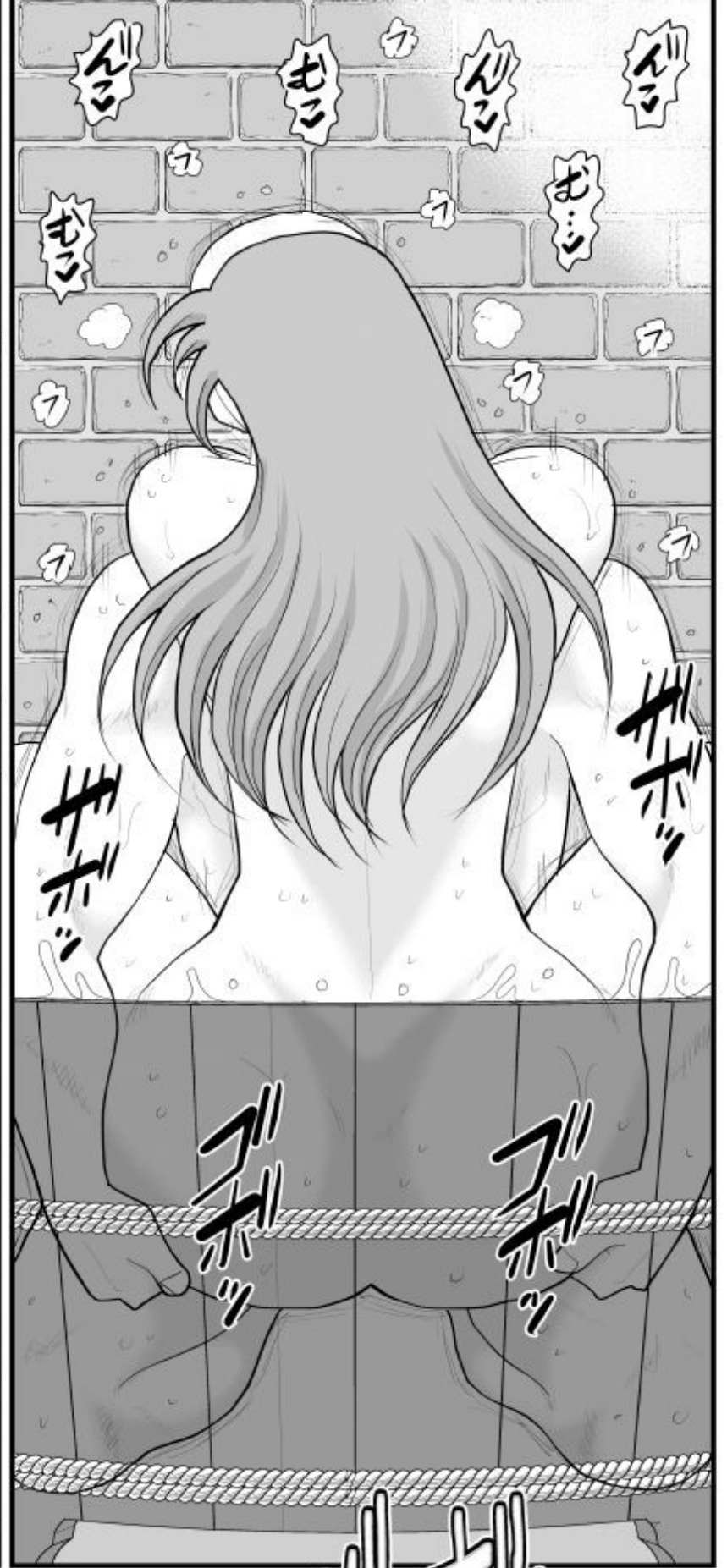
鼻鳴らしながら
舌絡めてるやつに
言われてもなあ



……あ……









チ
ツ
ツ
ツ
ツ

ん
ん
ん
ん
ん

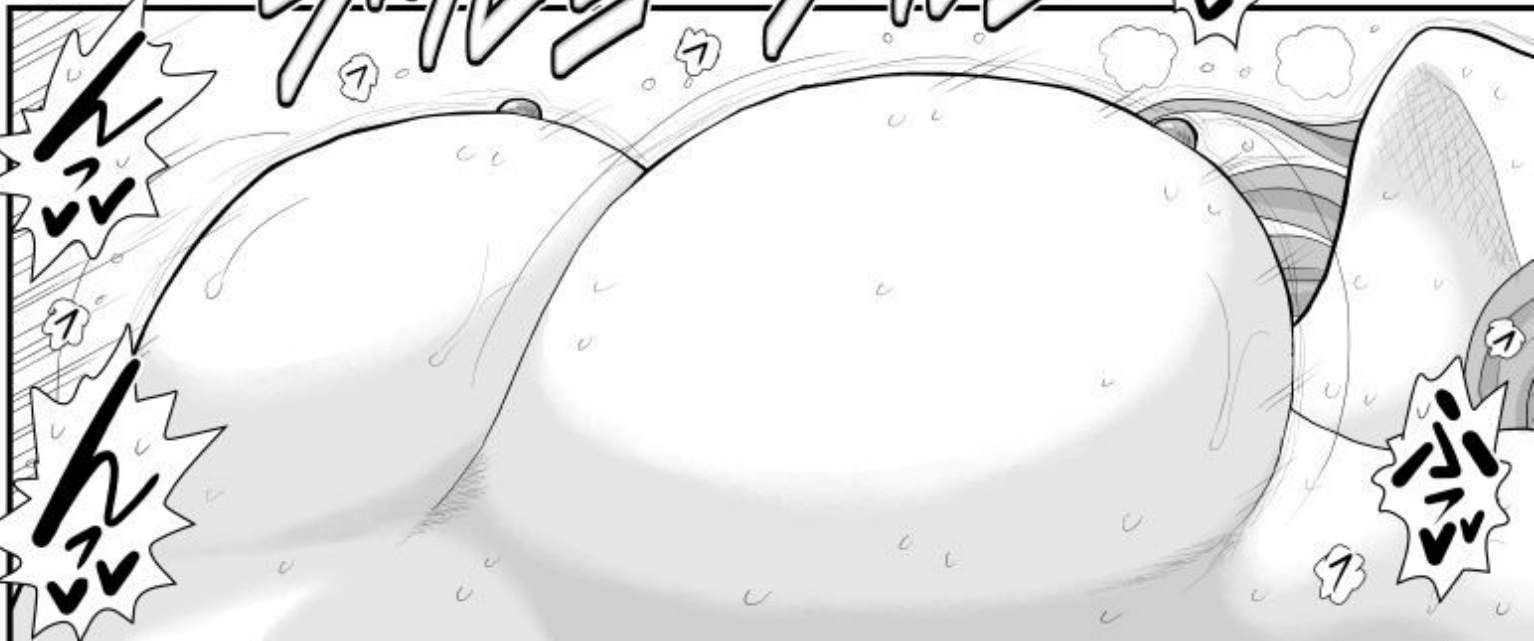


ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

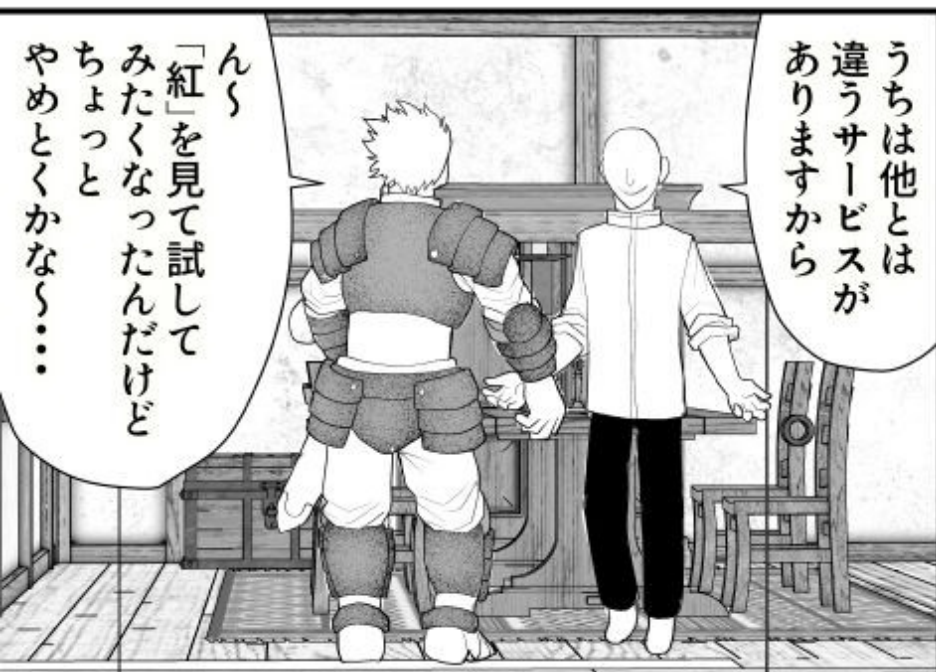
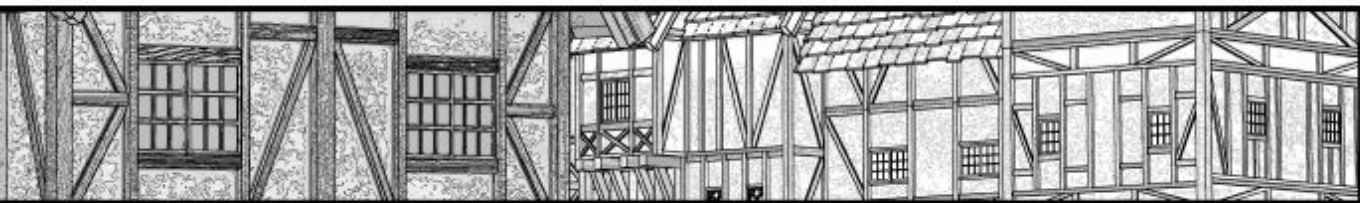
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ
ツ



ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん







つーかほんとに
起きないんだろな？
おい
マジでヤバいんだからな
この女

目え覚めたら
殺される

起きてるわ
馬鹿者

ハア...

ハア...

平気ですよ
反応はいいが薬で
起きなくしてありますから

ハア...

は...

あ...



なら思いっきり
楽しませてもらうか

キッシ

ズッ

ズッ

あ...

あ...

キッシ

は...

あ...

あ...



済んだら
施術するので
ちゃんと
要求した料金
払ってくださいよ

ハア...



ん...ん...ん

ん...ん...ん

ん...ん...ん

ん...ん...ん

ん...ん...ん

ん...ん...ん

キッ

ん...ん...ん

ん...ん...ん

キッ

ん...ん...ん

ん...ん...ん

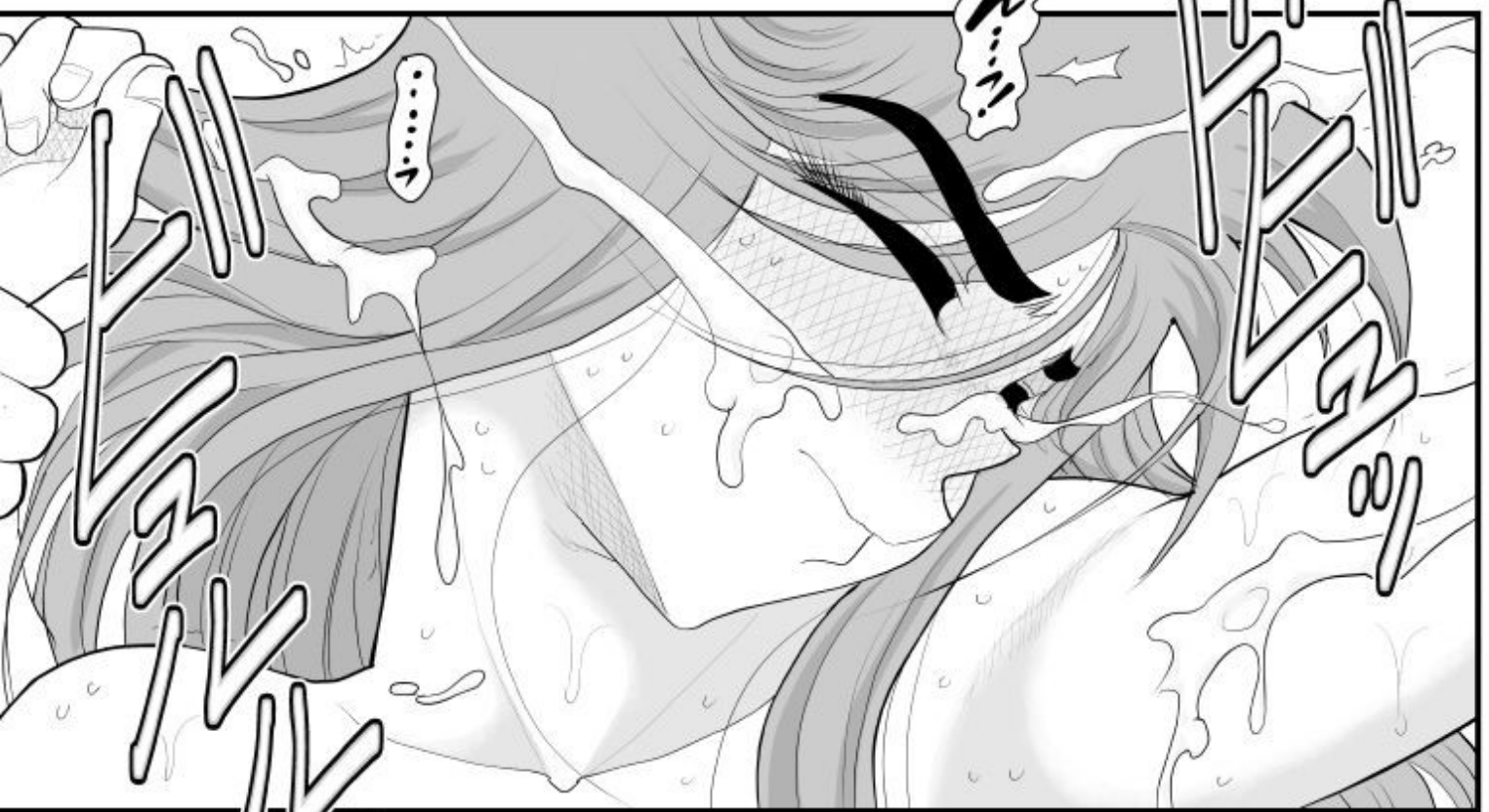
ん...ん...ん

ん...ん...ん

キッ

へへ…おい顔に
かけてやろうぜ
顔

マジで
目え覚まさない
だろうな…



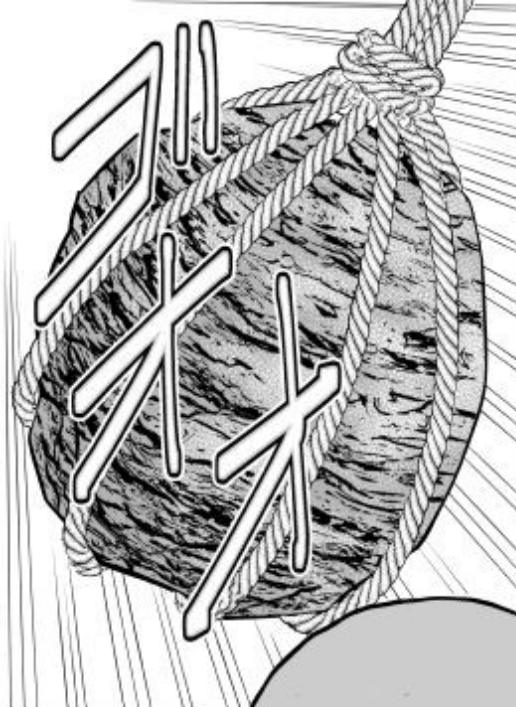
やっべ…
この顔記録
しときてえ…

頼めば記録玉
貸してくれんじゃね
あのハゲ

そのかわり
別料金
取るだろうけどな

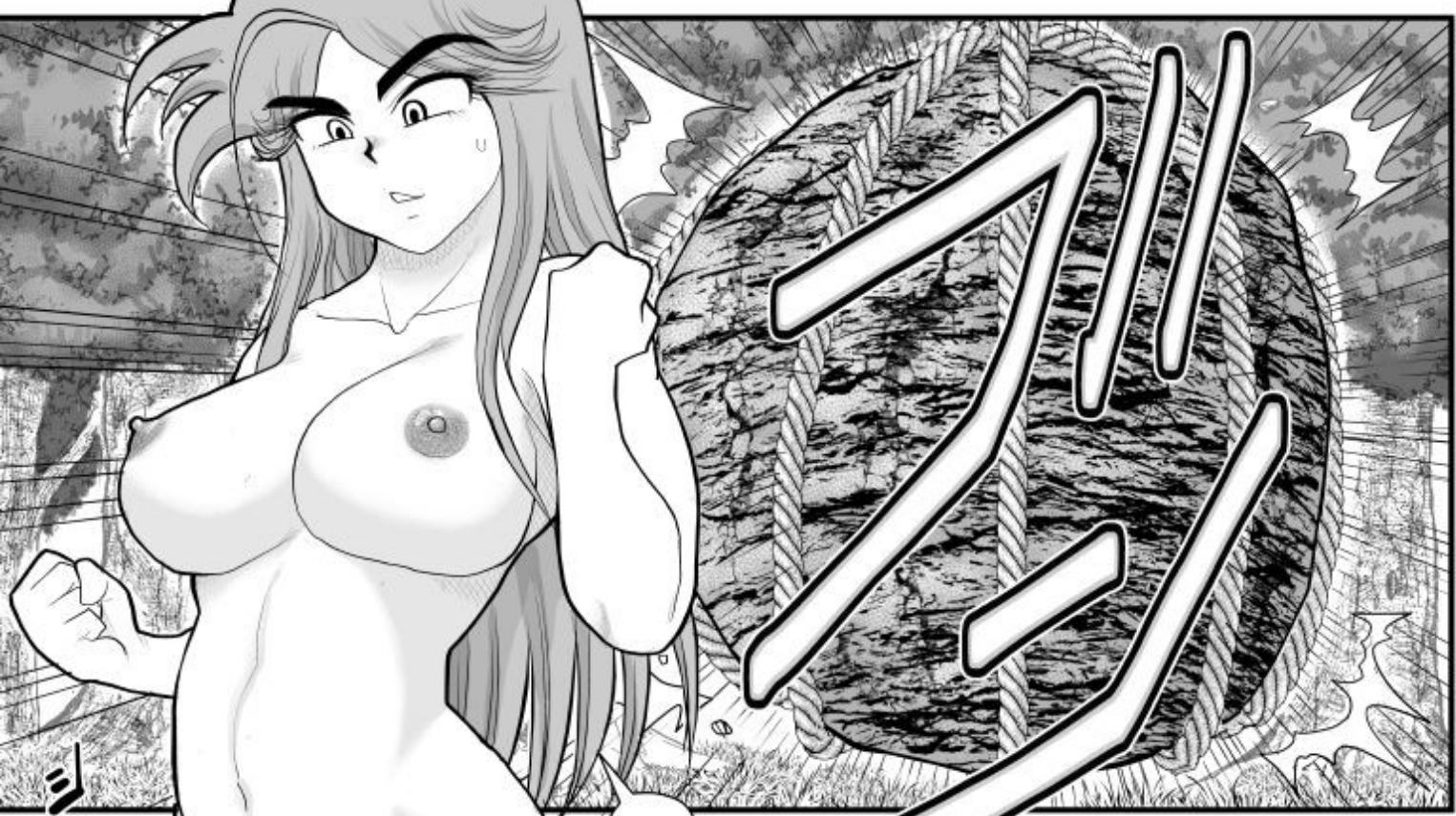
ジュッヤ…





いい稼ぎに
なったか……?

あゝははは
おかげ様で……



おお……

シラッ……

確かに強度が
上がってるな……



カリ
ラ
ラ……

だろ？
きみのために高価な
薬を増やしたんで
いろいろ赤字に
なったというのに……

言い訳になるか
だったらそのぶん
私に金銭で負担
させればよいだろうが

いやあ冒険者なら
身体を張って
ナンボだろう……ふふ

……本当にゲスいな
お前は……

じゃ恒例の
これで締めようか

内臓強化の薬酒か……
それを飲むと朝まで
記憶をなくすから
気が進まないん
だよ……

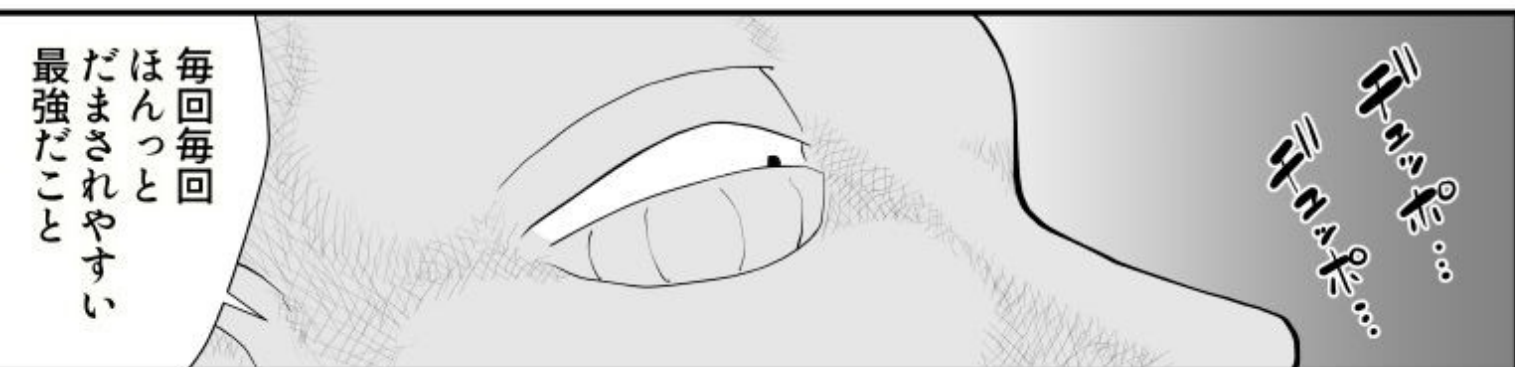
生命がかかって
るんだから
贅沢言わない

飲んだら眠るだけで
身体を張る必要もないんだから
ゆっくり休めばいいさ……

おつかれ

「グキョウ……」
「グキョウ……」

ん……んん……



毒に耐性あるとか
言ってたぶん
油断しすぎなんだよ

身体に害を及ぼさない
薬や酒なら普通に
効いちやうんだから

おまけに異様に
だまされやすいから
暗示もこのうえなく
かかるし

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ
フッポ

フッポ
フッポ



一応
釘を刺しとくが
親父の求婚に
答えたりするなよ

わ……か……った
……あ……あ……ん
……



僕も別に
きみと
所帯をもつ気は
ないからな

このまま
魔力甲冑の広告塔兼
特別サービス用
娼婦として
役立ってもらおうぞ

あと僕の
性処理役も

キッシ

ギョッ

あゝ

あゝ
いゝ
いゝ

ギョッ

はっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

あゝ
いゝ
あゝ

ふふふ…
意識朦朧だと
反応も素直だ

グッ
グッ

全部記録してあるから
いざれ完堕ちしたとき
聞かせてやるよ

コ
コ



ビッ

あゝ

あゝ

アッ

アッ

あゝ

ビッ



それじゃ
始めましょうか

例のサービスも
ちゃんとこなして
くださいよ

持ちっ持たれっ
だからな……
腹は立つが協力してやる

アッ

なんだ？

いえいえ別に……

では横に
なってください

えらく
素直ですね

わかってるわ……

終

だまされ美剣士コロナ6

FAKE庵